



民生費、衛生費、商工費、公債費を増額予算とし、農林水産業費、土木費、消防費、教育費は減額予算としました。

まず、国の第3次補正予算で配分を受け、繰越した新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した事業につきましては、第2次地域振興券事業、第2次個人住宅用感染症予防器具購入助成事業、第2次商工業および農林水産事業継続支援金給付などを実施します。

産業

安定した生産基盤を確保するため、農業および商工業に活力と魅力の回復をめざします。

農業振興では、足腰の強い持続可能な農業経営を図るために、各種生産組織および営農組織を中核とした組織型農業を推進し、農事組合法人の安定経営への支援ならびに担い手農家の育成を図ります。

町単独事業の継続と湛水防除事業、多面的支払交付金事業を

活用した農業生産基盤整備を県や地区と連携して推進するとともに、農業収入安定化事業については、これまでの農業供済と収入保険の二本柱で支援いたします。



商工業振興においては、プレミアム付き商品券発行や住宅リフォーム助成により、町内における消費喚起を図るとともに、事業継承と後継者の育成に向けた創業支援・事業所等整備促進事業および若手後継者等育成事業を継続して実施します。

企業誘致活動につきましては、火乃国食品工業(株)が氷川工

場建設に着手されており、町内雇用が期待されるとともに、元旦ビューティ工業(株)の残地活用と新たな企業誘致活動を継続してまいります。

保健福祉

地域でいきいきと暮らせる保健福祉の充実を図ります。

新型コロナウイルス感染症の克服に最優先に取り組みとともに、「生活の安定は健康づくり」という視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆様の健康増進を図るため、保健予防、検診事業および健康相談、保健指導、食生活改善指導を更に強化・推進いたします。

子育ておよび生活弱者の支援として、高齢者等福祉タクシー利用料金支援事業、病児・病後児保育、こども医療費無料化、産前産後ホームヘルプ事業およびすこやか赤ちゃん出産祝金支給事業を継続し、氷川町子育て世代包括支援センターを核に保健予防と児童福祉の両面から支

援してまいります。

高齢者支援として、いきいきサロン事業を全地区で開催しておりますが、高齢者のみならず地域の各年代層の方々が関わりを持てる機会をつくり、地域ぐるみで高齢者を見守る環境づくりを進めてまいります。

町社会福祉協議会の円滑な事業運営と改革の一環として、社会福祉協議会と民間施設と役割分担を図り、社会福祉協議会独自の地域で支える介護・福祉の環境づくりを進めてまいります。



教育振興

人を育む魅力ある教育を目指します。

竜北西部小学校学童保育所建設事業においては、造成工事を施工します。

既に整備した空調設備(エアコン)を運用し、快適な学習環境の提供や、ICT機器の活用とICT支援員および要支援児童生徒支援員の学習支援により

学力の向上を図るとともに、本町教育の特色であるコミュニティスクールや学校支援地域本部事業も継続して取り組んでまいります。

幼児期における質の高い保育・教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画および新次世代育成支援対策行動計画に基づく事業を実行し、すべての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる環境を創出してまいります。



氷川町体育協会ならびに氷川町文化協会との連携協力により、社会体育と文化の振興を図ります。

第76回熊本県民体育祭八代大会を本年9月11・12日に開催予定でありますので、八代市と連携して役割を果たしてまいります。



「ごみ減量化宣言」に基づき、電気式生ごみ処理機およびコンポストの購入助成を継続して積極的に普及促進を図り、ごみ減量化を進めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

防災・防犯活動では、デジタル化した防災行政無線の活用と氷川町防災マップ、地区別防災計画に基づく消防団および自主防災組織の活動を支援するとともに、緊急時における避難施設として野津防災公園を供用開始するとともに、宮原防災公園整備工事を行います。



生活環境

暮らしやすい快適な環境づくりを推進します。